

鎌ヶ谷巧業 PRESENTS

第49回千葉県U15中学校バスケットボール選手権大会 総評

(一社)千葉県バスケットボール協会主催の今大会は6月5, 6, 12, 13日の4日間、千葉県立館山運動公園体育館をメイン会場に行われた。県内各地区の代表チームに加え、千葉県U15ジュニアクラブチームバスケットボールリーグを勝ち上がった男女それぞれ2チームのジュニアクラブチームの代表によるトーナメントが組まれた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、昨年度は中止となった今大会が2年ぶりに開催され、再びU15カテゴリーの選手たちの元気にプレイする姿が県大会のコートに戻ってきた。

男子は、新人戦からの連覇を狙う八千代松陰(八千代)を筆頭に、同大会準優勝の椿森(千葉)、メイン会場地区代表の鴨川(安房)、そしてクラブチーム代表の千葉ジェッツU15(クラブユース)が顔をそろえた。準決勝では、八千代松陰 vs 鴨川で、鴨川の新人戦リベンジを防いだ八千代松陰と、千葉ジェッツU15vs 椿森の大接戦をものにした千葉ジェッツU15が決勝進出を決めた。

男子決勝は、両チームともハーフマンツーマンで試合開始。立ち上がりから、お互い激しいディフェンスでなかなか得点の入らない展開となる。しかし八千代松陰は#4菊谷のドライブや、速い展開で得点を重ねる。対する千葉ジェッツU15はディフェンスをオールコートマンツーマンにすることで打開しようとする。八千代松陰は#5小張、#関の連続スリーポイントで点差を広げる。千葉ジェッツU15は#崎元のスリーポイントや#27山本のジャンプシュートで攻める。後半の立ち上がり、千葉ジェッツU15は#30小倉の連続スリーポイントで追いあげる。しかし、八千代松陰も#4菊谷を起点とする速攻で得点を重ねる。第4ピリオド、千葉ジェッツU15はディフェンスの強度を上げ、追い上げを図るも、八千代松陰は#5小張のドライブで着実に加点し差を広げる。一方、千葉ジェッツU15は#30小倉のスリーポイントで食い下がるも思うように差が縮まらず、78-46で八千代松陰が優勝を決めた。

女子のベスト4には、新人戦のチャンピオン昭和学院中(市川・浦安)を筆頭に、リベンジを狙う市川三(市川・浦安)、そして市川三へのリベンジに挑む翔凜(木更津・袖ヶ浦・君津)、そしてクラブチーム代表のHOOPS4HOPE(クラブユース)が勝ち上がった。準決勝は、昭和学院 vs HOOPS4HOPE, 翔凜 vs 市川三のカードとなった。決勝には、新人戦チャンピオンの昭和学院と、同大会準優勝の市川三が駒を進め、新人戦と同カードとなった。

決勝戦は両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。前半、市川三中は、#18増田の3Pで1点差と詰め、#4武藤3Pなどの数少ないチャンスを確実にものにして食らいつく。対して昭和学院は、引き続き#4藤原の1on1でペースを作り、それに続いて#5月松のドライブ#7醍醐のシュートなどで得点を重ねる。後半、互いに一步も引かず、昭和学院が#5月松のシュートなどでスコアを伸ばすと、市川三中も#4武藤のバスケットカウントで同点に並ぶ。市川三中は、#5和田のポストアップ、#6米澤のゴール下、#8牧野のシュートで追いかけるも、昭和学院は#7醍醐のハイポストドライブが決まるなど譲らない。昭和学院が最後まで試合をコントロールし3年ぶり21回目の優勝を決めた。

新型コロナウイルス感染症予防に万全を期して大会準備・運営をしてくださった関係者の皆様、駐車場の案内整理をはじめ、係、TOなど、意欲的に取り組んでくださった開催地のバスケットボール部の顧問の先生方に、感謝申し上げたい。

【男子】

優勝 八千代松陰中学校(八千代)
準優勝 千葉ジェッツU15(クラブ)
第3位 鴨川市立鴨川中学校(安房)
千葉市立椿森中学校(千葉)

【女子】

優勝 昭和学院中学校(市川・浦安)
準優勝 市川市立第三中学校(市川・浦安)
第3位 HOOPS4HOPE(クラブ)
翔凜中学校(木更津・袖ヶ浦・君津)